

01-02 ミュージカル 王様と私

03-08 ジャズとクラシックの「接近遭遇」
山下洋輔 × 茂木大輔 対談 第二回

09 松竹大歌舞伎 記者会見

10 写真家 石元泰博 vol.01

11-12 SERIES 映画・美術・自分史・音楽

13-16 ありがとう! 50号記念特集

17-19 春日井市内の隠れた魅力、一緒に探しませんか?

20 COMING SOON! / 読者アンケート

21 voice お客さまの声、から / 春日井市民会館からのお知らせ

22 最近、こんなので読んでます / information from PiPi





作曲=リチャード・ロジャース
作=オスカー・ハマースタインⅡ
名曲『シャル・ウィ・ダンス?』でお馴染みの傑作ブロードウェイ・ミュージカル!!

ミュージカル 王様と私

あらすじ

一八六〇年代のシャム王国(現在のタイ王国)。国の近代化を目指す王様が、自身の子どもたちに西欧式教育を受けさせようと、イギリス婦人アンナを家庭教師として雇い入れます。アンナは、文化や立場の違いに戸惑い、また、隣国ビルマから貢がれたタブチムに驚き、王様と対立します。しかし時を刻むにつれ、アンナは王様の真摯な姿を知り、王子や王女たちと心を通わせ、少しずつ王宮に溶け込んでいくのです。

そんな折、王様はイギリスの特使ラムゼイ卿がシャム王国に寄ることを知り、植民地化を恐れる王様は、シャムが文明国であることを示すため、アンナの指導のもと、西欧式の晩餐会を開く計画を立てます。晩餐会は大成功に終わり、王様はアンナに指輪を贈ります。ところが、タブチムが恋人ルンタとともに脱走したとの報告が入るのです。捕えられたタブチムに自ら鞭を打つ王様の姿を見たアンナは、王様に激しい言葉を投げつけ、シャムを去る決意をします。やっと分かり合えた二人に、別れの時

私はそこにいた

松平健が受け継ぐ、王様役、その先へ

テキスト 山田純 (名古屋芸術大学教授)

ユル・プリンナーと『王様と私』

『王様と私』でシャム王を演じたユル・プリンナーの存在感はあまりにも強烈でした。鋭く異様に輝く目とツルツルに剃った頭、野蛮そうに胸をはだけて腕組みをしたその立ち姿は、目と脳裏に焼き付いて離れることはありません。『王様と私』の主人公は、シャム王ではなく、ユル・プリンナーそのものだったのです。この作品は、もともとブロードウェイのミュージカルとして一九五一年に最初の公演が行われ、以後、八五年にプリンナーが肺癌で亡くなるまで、四千数百回の公演回数を記録しました。名作と名優の存在を証明して余りありません。

松平健とユル・プリンナー

日本での初演は松本幸四郎が行い、その後、松平健に受け渡されて二二一回の公演が行われました。今回は、一九九〇年以來二十二年を経て、松平健の再登場となります。円熟味を加え、満を持しての再演です。当初より『王様と私』への意気込みには並々ならぬものがあつたようです。ニューヨークのサヨナラ公演の少し前、実際にユル・プリンナーの公演を見て、衣装や振り付けは勿論のこと、子宮に響くと言われた発声法や初演の時に思いつきで剃ったという



シャム王 松平健

芸術とカタルシス作用

優れた芸術にはカタルシスがあります。カタルシスとは心理学で言うところの「浄化作用」のことです。これを明らかにしたのが哲学者のアリストテレスでした。芸術作品への感情移入を通して、日常生活の中で抑圧されていた感情が浄化されると考えたのです。例えば『王様と私』には、東洋と西洋の文化的な相違から様々な困難が王様とアンナの間に出現し、それは更に新たな問題へと発展し、そしてアツと言う結末を迎える、そんなハラハラドキドキの物語がある

私はそこにいた

アメリカの著名な舞踊評論集に『私はそこにいた (I WAS THERE)』という批評集があります。生身の俳優が目の前で

演じているという実感は、何にも代えがたいことであることが述べられています。「いつ、どこで、何を見たか」に付け加え、「誰が見たか」という要素が重要なのです。春日井市民会館で行われる『王様と私』を見ることは、王様を演じる俳優松平健を見ることに繋がります。そして生身の人間松平健を見ることのできるのには、「私はそこにいた」という舞台参加体験をした、あなただけの特権なのです。



タブチム はいだしょうこ (ダブルキャスト) ※8/10公演出演

『王様と私』といえば その名曲『シャル・ウィ・ダンス?』!

『サウンド・オブ・ミュージック』をはじめ『オクラホマ!』や『回転木馬』など、数々の名作を手掛けた、ミュージカル界の大御所リチャード・ロジャースとオスカー・ハマースタイン二世。彼らによって製作された『王様と私』は、名曲『シャル・ウィ・ダンス?』や、『仲よくしましょう』など、誰もが耳にしたことのある音楽で彩られています。

ミュージカル化のきっかけは、アンナ役のガートルード・ローレンス

1951年にブロードウェイで初演を迎えた『王様と私』で、アンナ役をつとめたガートルード・ローレンス。マーガレット・ランドンの小説『アンナとシャム王』を読み、映画版(46年)を見たローレンスが、自身主演のミュージカルの製作をロジャース&ハマースタインに依頼したのがミュージカル化のきっかけでした。

めずらしい経歴をもつ、王様役のユル・プリンナー

1920年ウラジオストックで、スイスとモンゴルの血をひく父親とユダヤ系ロシア人の母親との間に生まれた、ユル・プリンナー。幼少期は中国やフランスで育ち、パリではブランコ曲芸師として活躍。その後、俳優を目指しアメリカに渡ります。ミュージカル『王様と私』(51年)でその名を馳せ、トニー賞を獲得。強烈な個性を武器にし、俳優として活躍しました。85年、肺癌により逝去。

ミュージカル 王様と私

8/9(木) 18:00~ (開場は30分前)
8/10(金) 13:00~ (開場は30分前)
| 春日井市民会館

※タブチム役(ダブルキャスト) 平田愛咲 8/9(木) 18:00(金) 13:00
[料金] ¥3,500(税別) (10枚以上同時購入 ¥3,000)
PiPi 会員 ¥2,000、¥5,000(ペア券はPiPi会員 ¥1,000) 3% Point
全席指定、当日券同額、未就学児不可
[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード 419-985)、ローソンチケット(Lコード 48935)、名鉄ホールチケットセンター
[主催] 一般社団法人映画演劇文化協会、かすがい市民文化財団 [共催] テレビ愛知



アンナ 紫吹淳



NHK 交響楽団
首席オーボエ奏者

茂木大輔

山下洋輔

ジャズ
ピアニスト

打楽器群が炸裂する部分で
あ、ここで肘打ちができる！



『ボレロ』ができるぞ！と思いました

山下さんがクラシックの曲をジャズ
で使うときは、何で決めるんですか？

山下 構成です。『ラブソフィー・イン・ブルー』も、きちんとした譜面があるから最初は無理だと思いましたが。でも、オーケストラとあわせるところは何とかあわせ、ピアノソロの部分は勝手にやるって決めたときに、ようやく弾けたんです。本来は譜面どおりやるべき曲なので、ルール違反だと自覚しつつね。どうせ一回きりだと思っていたのに、面白い奴がいるってことで、今まで続いてきちゃったんですよ。

茂木 もう二十五年以上も続いているわけですから、素晴らしい！

山下 『ボレロ』は、実はきっかけに茂木さんが絡んでいます。八十年代の初めかな？ 暗黒舞踏出身の古川あんずというダンサーから、ぼくのピアノで『ボレロ』を踊りたいというリクエストももらっていたんです。どうしようかな、と思っていたときに、ミュンヘンでオーボエ留学していた茂木さんと出会いました。まるでクラシック界のタモリみたいに面白い人だとわかって、すぐに親しくなったんです。

茂木 そして、冷し中華をエサに、山下さんを自宅に招きました。というのも、卒業試験で演奏する現代曲を、山下さんに書いていただきたくて。

山下 地下半みたいところに閉じ込められて(笑) 書きましたね。その滞在中に、茂木さんが演奏会に連れていかれてくれました。減多に聴けないチェリビダツケという指揮者がミュンヘンフィルを振ったもので、最後に『ボレロ』をやったんです。それが格好よくてね。打楽器群が炸裂する部分で、あ、ここで肘打ちができる(笑)！ よし、『ボレロ』ができるぞ！と思いました。

茂木 すでにボレロ演奏のオフアアがあったんですね。ぼくは今まで、そのことを知らなかったです。

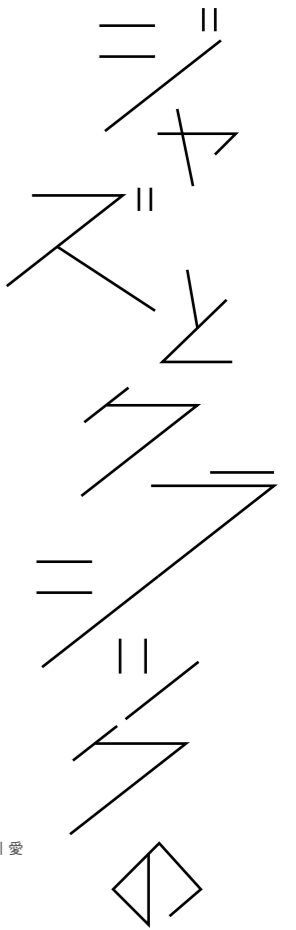
山下 そう、ものすごく良い偶然でした。蓄えてきた音楽的技量があるから未知の音楽を出し合っても終われる“んです”



クラシック音楽は、楽譜に込められた作曲家の意志をどれだけ伝えられるか、ということに重きがおかれていると思います。一方ジャズは、演奏者がどれだけその人自身の演奏をいれられるかに面白さがあると思うのですが、

それぞれの音楽ジャンルで第一線を走る二人の小気味よいダイアログ [対談 第二回]

接近遭遇



構成&テキスト=スタッフ 山川 愛
撮影=中野建太
協力=フリーペーパー MEG
2012/3/5@東京・渋谷

山下洋輔が二〇一二年六月に、日本経済新聞で連載した『私の履歴書』の結びは、このような文章でした。「無数の人々に出会い、人生の選択をしてきた。しかし、これは逆とも考えられる。自分の人生は出会った人々に選択されたのではないだろうか。そのことに感謝しつつこれからもアバレ続けたい」

そんな山下がクラシック界のタモリと呼ぶ、NHK交響楽団首席オーボエ奏者の茂木大輔を、スペシャル・ビッグバンドに投入してきました。既にピンでたっている凄腕ミュージシャン十六名を揃えるだけでもスケジュール調整が大変で、二年に一度しか披露できないビッグバンドにも関わらず、新しい挑戦をしかけてくる。山下のアバレ続けるとは、まさにこのことに踏み出ているのではないのでしょうか。

前号から続く山下洋輔と茂木大輔の対談は、ぐっと深度を増します。ジャズと呼ばれるもの、クラシックと呼ばれるもの、それらを二人がどう眺め、斬り込んでいるのか、その審美眼をお楽しみください。

ジャズとクラシック、両方を眺めた時に思われることはありませんか？

山下 ジャズは即興演奏が命です。誰が言ったかわかりませんが「ジャズに名曲なし、名演奏あるのみ」って言葉がありますね。例えばエリントンの曲を、どう変えたっていいわけです。ただ、その演奏が良ければいい。正に演奏者自身の責任なんです。

エリントンの曲はだいたいAABAの三十二小節ですから、ステージで三十二小節やって終わる、じゃダメなんです(笑)。それをもとに、即興演奏を繰り広げるわけです。モーツァルトの『キラキラ星変奏曲』なんて、完全にその場の即興のように聞こえます。あれをジャズの即興演奏だと思えば、あんな見事なものはありません。

ところがジャズというのはジャンルが広くて、お酒を飲んで踊れるものもあれば、超現代音楽的な自己表現というものも含まれます。ぼくは特に後者を大事にしています。

そうなるも、何も決めずに演奏しても良いわけです。ぼくが始めたとして、例えば茂木さんだったら、すぐに音の出し方を発見してくれて、自分も即興で音を出す。二人で未知の音楽に突入していくわけ

ですね。やがてどう終わるの？という問題がでてくるけど(笑)、しかし、終われる。これが、二人が蓄えてきた音楽的技量という財産なんじゃないか。呼応しあうから、できるわけです。




2010年に開催した、春日井でのコンサートでは、スタンディングオベーションで、会場が沸き上がった！

残り
わずか!

山下洋輔 スペシャル・ビッグバンド コンサート2012

6/24(日) 16:00～ (開場は30分前)

春日井市民会館

[料金] ¥6,500、学生券 ¥3,000 

PiPi 会員 ¥6,000、学生券 ¥2,500

全席指定、当日券同額、未就学児不可

学生券は25歳以下の学生が対象

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化

情報プラザ、電話&インターネット予約、

チケットぴあ(Pコード163-899)、ローソ

ンチケット(Lコード48431)、名鉄ホール

チケットセンター

[主催] かがすい市民文化財団、プラネットアーツ

[企画制作] プラネットアーツ、ジャムライス



コンサート後の余韻を楽しむなら、蕎麦好きの山下さんにちなんだ、お蕎麦でさっぱりと締めたいかたがどう? 季節の天ぷらもバリエーションに富んでいて、おススメです。

蕎麦の三心 New! PiPi 提携ショップ!
サービス/食後のアイスクリーム(4名様まで)
六軒屋町 4-162 ☎0568-56-6877
11:30~14:30、17:30~22:00 水曜定休

4月の、茂木大輔さん



のだめ音楽会@兵庫県立芸術文化センターで、指揮している姿をパチリ。ちなみに、この日は、のだめ音楽会 動員10万人を達成。詳細は8ページを。

5月の、山下洋輔さん



コンサートのプロモーションで、CBC ラジオ「北野誠のズバリ」に生出演。山下さんならではの猫トフでとっても盛り上がりました!

— 会話のようですね

山下 その通りですね、フリージャズの手法です。この手法で成り立つ音楽をどう作れるかが、今回のコンサートの茂木コーナーでの挑戦になるでしょうね。

モーツァルトはファンタジーし バッハはフリージャズに 踏みかかっていた!



茂木 クラシックは、楽譜を使って演奏しているから、クラシック音楽っていわれるようになったんです。

山下 なるほど。

茂木 作曲者が生きていた頃も楽譜を使って演奏していましたが、人によっては現場にきて、楽譜を直していたでしょう。ピアノコンチェルトでは、好き勝手にカデンツァを弾いていたと思います。例外的にベートーヴェンはカデンツァを何曲も楽譜に書いています。書くのが面白かったからでしょうね。モーツァルトはあまり書いていません。おそらく、即興で延々と弾いていたのでしよう。当時のコンサート資料を見ると「ここでファンタジーをした」と書いてあって、それこそファンタジーは即興演奏のことだと思えます。おそらく、ベートーヴェンやモーツァルトがやっていた即興というのは、さ



きほど山下さんが仰っていた

フリージャズの情熱を持ちつつ、理論に則っていたものだと思いますよ。転調するにしても無理矢理ではなく、理論的な瞬間作曲、という感じ。しかし、作曲家本人が亡くなり、即興をやる人がいなくなつたので、金科玉条的に楽譜を読んでいくことになってしまった。作曲家は、楽譜通りに演奏されることを本当に願っていたのは、わかりません。

対談
第二回
茂木大輔
×
山下洋輔

山下 楽譜は当時から変わってないの?

茂木 いいえ、実は聖書のように流通している楽譜に、おびただしい間違

いたのは、わかりません。

やました・ようすけ

1942年、東京生まれ。69年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。今年、古希を迎え、誕生日にはハノイのオペラハウスでベトナム国立交響楽団とのコンサートを開催。近著に日経新聞の連載をまとめた『即興ラプソディー 私の履歴書』がある。

もぎ・だいすけ

1959年、東京生まれ。「山下・筒井文化圏の申し子」と豪語する、オーボエ奏者・指揮者。現在は、NHK交響楽団に所属。『のだめ音楽会』では全国のオーケストラを指揮。名曲を徹底的に解説するコンサートを自ら企画している。その語り口の面白さに、TV・ラジオ出演多数、執筆活動も展開している。

があるんです。指揮をやっていると楽譜のことを考えるのでわかつたのですが、出版社によって音が変わります。単なるミスプリントではなくて、十九世紀に出版社が勝手に曲を整えていました。これは変な音だから変えよう、と。しかしベートーヴェンのどんな資料を探しても、その変な音しか書いていない。バッハなんかは二十世紀まで、あんな大作曲家なのにたくさん間違いを書いている、と言われていたんです。精密に調べていくと、音楽上、わざと違和感を作るために、その音にしていたらしい。和

ある法則の中なら複雑な即興演奏ができることを知って 人生が変わった



茂木 結局、作曲者が音楽をよくわかっているということ。ジャズもよくわかっている人がやるから、即興でやろうと楽譜を書こうと、面白い。人間の本質的な、飽きていくことと持続していくことの関係に則っているのが、

“いい音楽”なんですよね?

山下 そうなんです。即興演奏でも、自分自身がワクワクしている状態がとても大事だね。

茂木 終わんねえかな、っていう状態はヤバイ(笑)。

山下 そう。でも、どうやって終わらせようかっていうのは演奏者の快楽でもある(笑)。

茂木 ぼくは山下洋輔の音楽に高校生で出会いました。クラシックの勉強をするために音大に入ったんですけど、前衛音楽も好きだった。民族音楽や即興演奏にも興味がありました。自分も

即興をやっていたんですが、一番ヤバいのは、終われなくなることなんです。誰がどうやって終わらせるのかわからないまま、瞑想的にダラダラやるのが、非常に不快でした。そんな時に山下さんの『クレイ』を聴いて、エネルギー、スピード感、何もかもに驚きました。方法論っていうものがあつたんです。終わり方に太い芯が通っていれば、どんな風に駆け巡っても安心なんだ、というところがわかりました。

山下 自然とそうしたくなつたんですね。

茂木 自由に長い間、エネルギッシュに演奏したい、という欲求をお持ちだったわけですか?

山下 いやいや、やっぱり「どう終わるか」ですよ。誰かがキューを出したら、テーマをやって終わり。太古の昔からあることです。

茂木 たとえそれが二つの音であつて

も、何か曲を聴いた、という体験をさせてもらったんです。額縁がちゃんと作られているからお客さんも納得する。極限の単純さですよ。ある法則の中で、非常に複雑な即興演奏ができるということを知って、人生変わりましたね。

難曲の『展覧会の絵』と

『ボレロ』に挑む!



— 今回のコンサートの聴きどころは?

山下 『展覧会の絵』の最初で、トランペットのソロでしょ。今回はエリック宮城にやってもらう予定です。あの部分、その昔、N響の名手が間違えたという伝説を聞いたことがあるんですけど。

茂木 昔だけじゃないですよ。でもね、あれは可哀そう。無理です。あれを楽

声の禁則を使って作曲していたバッハは、実はフリージャズに踏みかかっていたのかもしれない。だからこそ、いまやクラシックも楽譜ありき、とはいえない時代に来たと思います。

注1) カデンツァ 独奏協奏曲にあって、独奏楽器がオーケストラの伴奏を伴わずに自由に即興的な演奏をする部分のこと

クラシック演奏会への招待状を目指して。“のだめカンタービレ”の音楽会 来場者10万人を突破！

2006年に春日井で初演された『茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会』。全国約64ヶ所で各地域のオーケストラと共演し、はや6年が過ぎました。

今年のゴールデンウィークには、兵庫県立芸術文化センターにて2公演を行い、これまでの来場者が10万人を突破しました。茂木さんがトークでそのことに触れると、会場から温かな拍手が！

“のだめ音楽会”をきっかけに、多くのクラシック演奏会に足を運んでもらいたい、音楽をもっと好きになってもらいたいと願う気持ちは、今も変わりません。これからより多くの方に、素敵な音楽を届けていきたいと思います。



2012/4/30(月・祝)
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

来年(2013年)6/2(日)、春日井で第5弾開催決定！ “のだめカンタービレ”の音楽会

春日井のみなさま、お待たせしました。来年、久しぶりに初演地・春日井で2公演を開催します。詳細情報は、来年以降の公開を予定しています。お楽しみに！



2010/7/31(土) 春日井市民会館



ムソルグスキーは、組曲全体をロシアの民族伝承で取り囲み、イタリア、フランス、ポーランド、ドイツ(ユダヤ人)、再びフランス、イタリアなど、ヨーロッパの印象をもつ小品をその中にシメトリに構成しています。右の絵はロシアの画家レービンによる、ムソルグスキー晩年の、病床での様子。

「私の中でガルトマンが沸き立っています！
楽譜と旋律が自然にわき出てくるのです」
(作曲中のムソルグスキーの手紙より)



ヴィクトル・ガルトマン

「ぼくがペテルブルクで最後にムソルグスキーに会ったとき、彼はとても親切でした。ムソルグスキーに、ぜひぼくの感謝の気持ちを伝えて下さい。ムソルグスキーはぼくにとって、いつも神のような存在です」
(ガルトマンの手紙より)

●第10曲
キエフの大門(凱旋門)



キエフ市の記念的建築のコンテストにガルトマンが入賞したのが、この大きな門のデザインでした。しかし、この門は現実には建築されていません。ムソルグスキーは、亡くなった友人の夢であった巨大な門を、壮麗な音楽の中に実現してみせるのです。

ワトリの脚を持つ小屋に住み、人間を食べてしまうといいます。ガルトマンが描いたのはその小屋の時計。規則正しい不気味な連打は、時計の音なのでしょうか。



この曲は、古今東西多くの音楽家達によって、さまざまな編曲がなされています。よく知られているのは、二十世紀のフランス人作曲家ラヴェルによる管弦楽バージョン。山下洋輔スペシャル・ビッグバンドコンサートでも、ラヴェル版をもとにした、ビッグバンドならではの演奏が披露されます。

ムソルグスキーとガルトマン。この二人の不遇な天才の友情と偉業は、ラヴェルによって、その音楽の中に永遠の命を得ているのです。

組曲『展覧会の絵』は、ムソルグスキーによる“空想の展覧会”だった！

参照資料=『茂木大輔の生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会』スライド映像(草案=茂木大輔)構成=スタッフ 小松淳子、山川 愛

●プロムナード

●第7曲
リモージュの市場、
大事なニュース



リモージュはパリの市場。ムソルグスキーは自筆楽譜のすみっこに、フランスの市場のおばさんたちが早口で言い交わす、意味のないわき話のパロディーを書きつけています。

●第8曲
カタコンベ(ローマの地下墓地)



カンテラで頭蓋骨を照らす、ガルトマンの姿。死者の魂が、ムソルグスキーに近づいてくるかのようです。オーボエが呼びかけ、死者の言葉が応えていきます。

●第9曲
ニワトリの脚の上に建つ小屋
(バーバ・ヤーガ)

ロシアの伝説にある、妖怪バーバ・ヤーガ(ヤーガ婆さん)は、二

4頭の牛に重々しく牽かれてゆく荷車。ムソルグスキーは、重い荷車を農民の視点で描いています。タイトルは、ポーランド語。

●プロムナード

●第5曲
卵のからを付けたひよこの踊り



この絵は、子供のバレエのための衣裳デッサン。実際にこの衣裳をつけて踊られたそうです。

●第6曲
サミュエル・
ゴールデンベルクと
シュミレ(二人のユダヤ人)



ガルトマンによる、お金持ちのユダヤ人と、貧しいユダヤ人の2枚の絵を、ひとつの音楽の中で対話させています。

●プロムナード

●第3曲
チュルリーの庭
(けんかのあとの仲直り)



チュルリーはパリにある宮殿の庭のことです。ここで遊び、けんかする子供たちの、にぎやかでかわいい様子が描かれています。

●第4曲
ビドロ(牛車)

●プロムナード

プロムナードは、この組曲の開始から、絵と絵の間を歩いて行くような役割を担っています。それぞれの絵を見たあとのムソルグスキーの気持ちが、同じ旋律をさまざまに変化させています。

●第1曲
グノーム(こびと)



ロシアの伝説に出てくる、地底を不気味な姿で忙しく回り、財宝を守るこびと。ガルトマンの絵には、ついたての向こうにいる、かわいい姿で描かれています。

●プロムナード

●第2曲
古い城

原題はイタリア語で書かれているタイトル。シシリアーノ舞曲のリズムによって、中世の吟遊詩人の歌がノスタルジックに描かれています。この曲に一致する絵画は見られていません。

行ってきました!

平成二十四年度(社)全国公立文化施設協会主催東コース

松竹大歌舞伎 記者会見



松竹大歌舞伎 完売!

7/14(土) 12:00~ / 17:00~

春日井市民会館 (開場は30分前)

[料金] SS席&S席 完売、

A席¥5,500、B席¥4,500 (僅少)、

C席¥2,500 (僅少)

PiPi会員は上記金額の¥500引き

全席指定、当日券同額、3歳以上有料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話&インターネット予約、チケットぴあ(Pコード418-155)、ローソンチケット(Lコード47483)、名鉄ホールチケットセンター

専用シャトルバスを運行!

片道¥100 予約不要
・JR春日井駅→市民会館
11:00~開演まで / 16:00~開演まで
・市民会館→JR春日井駅
終演~30分程度



金屏風の前に勢揃いした看板役者さん。そのオーラに圧倒!

進化しつづける「義経千本桜」 次世代役者の挑戦を見るべし!

テキスト：公演担当 後藤友介

「尾上松緑と尾上菊之助の芸を、交互出演することでお客様に楽しんで頂きたい。ここから生まれる緊張感が芸を磨くことにもなりますから」と菊五郎丈。

「道行初音旅」では忠信を菊五郎丈が演じますが、今回の特色の一つとして、「鳥居前」と「川連法眼館」で若手二人が忠信を交互に勤めます。巡業という旅まわりの中で切磋琢磨し、進化していく。次世代役者にかかる期待ともいえるでしょう。

「松緑襲名でも勤めさせていただいた大役。もう一度思い起こして創り上げていきます」とは松緑丈。一方、女形を演じるこ

とが多い菊之助丈は、「今回演じるのは歌舞伎の代表的な荒事役なので、大変ハードルの高い舞台となります。これは挑戦ですね」と意気込み十分。

「菊五郎お兄さんとは度々踊らせていただきますが、『道行初音旅』は今回が初めて。一生懸命勤めさせていただきます」という中村時蔵丈は静御前を演じます。「若い二人に引張られながら、私たち二人も頑張ってください」と謙遜される菊五郎丈ですが、会場での存在感は圧倒的。「尾上菊五郎劇団、ここにあり!」を肌身感じた、記者会見でした。



高知県立美術館 ©高知県

桂離宮を二つの視点で写し出す

『古書院二の間南面・一の間と囲炉裏の間を望む』

一九八一〜八二年

畳の縁で引かれる水平と黒い柱が直交する垂直の線。光差し込む障子と白い壁。厳密に計算された抽象画のような構成的な画面。石元泰博さんの代表的なシリーズ「桂」です。このシリーズは二度撮影されています。初めて撮影されたのは、十五年間暮らしたアメリカ生活から離れ、来日した一九五三〜五四年です。石元氏は帰国前に、日本建築の展覧会を企画していたニューヨーク近代美術館(MOMA)の写真部長 スタイケンから日本の伝統建築の調査を依頼され、建築家吉村順三とともに数週間に渡って、関西の名所を回りました。その一つが桂離宮だったのです。

「庭に一体感を感じた。庭に立つと、黒み帯びた柱・鳴居・廊下の手すりが分割する建築物の構成とか、緑の芝生とピロイドのような苔の上に雁行する踏み石、そうしたものに独特のリズムを感じて心地よかった。」

彼は、今まで見慣れたシカゴのモダン建築と桂離宮を重ね合わせ、桂にモダンデザインの要素を見つけ出しました。その後、一人で桂離宮に出向き、飛び石や敷石などのディテールにこだわって、書院の外を中心に撮影しました。再び桂離宮を訪れたのは、大修復を終えた一九八一〜八二年。書院の襖の桐模様はきれいに貼り替えられ、華やかな

色彩と緊張感のある空間を生み出していました。石元氏は、書院内を中心に細やかな紋様などを撮影しています。

「写真家にとって、同じ被写体を二度も撮影し、しかもいずれも出版されるというのは大変なことで、勇氣もいるし、実を言うとなかなかやりにくいものである。」

一度目は色彩のないモノトーンの世界による構成的な美しさを追求し、二度目は色彩を取り戻した桂離宮の美しさを切り取った、彼の異なる視点がかび上がります。写真家石元泰博は、構成的な「力強さ」、色彩と紋様が生み出す「たおやかさ」、その相反する魅力を世に印象付けたのです。

テキスト：展覧会担当 村木莉乃

高知県立美術館所蔵

写真家 石元泰博

一時代を超える静かなまなざし

9/8(土)~10/11(木)

10:00~17:00 (入場は30分前まで)

文化フォーラム春日井・ギャラリー

[チケット情報] 一般発売 6/20(水)~

[料金] ¥500、前売・PiPi会員・学生(高校生以上)・団体

(20名以上) ¥300、中学生以下・障がい者手帳をお持ち

の方と介助者1名 無料

[取扱い] 文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約、

春日井市東部市民センター、チケットぴあ(Pコード765-184)

[助成] 財団法人地域創造

※1 日本の伝統とモダニズムの融合を図った建築家。この地域でみられる代表作に、愛知県立芸術大学がある。

※2 2008年10月『INAX REPORT No.176』INAX 出版(初筆) ※3 石元泰博 1983年『桂離宮 空間と形』岩波書店



奏者たちの
素顔に
せまります!

昼コン&夜コン担当/大山鋭裕

音楽とわたし

「きれいな模様が彫刻された、ゴールド色の滑らかな曲線を描くボディが、とてもかっこよく見えたんです。」藤原愛子さんがサクソフォーンを始めたきっかけは「見た目」でも、中学時代に吹いていた楽器は、部活で使い古された年季もの。長く使っていく内に、気付けばそれが宝物になっていったといいます。

「練習していくうちに、楽器の持っている音の魅力にも惹かれていきました。たまたまラジオから流れた、ある方の演奏の音に心を奪われたんです。その音の

サクソ奏者 藤原愛子さんの「見た目より中身」

主は、実は大学時代の恩師。この人に絶対習いたい!と思ひ、追いかけて入学したんです」

今でも音への興味とこだわりは尽きない。例えば、姿勢や呼吸法を変えてみたり、硬さの違うプラスチック製のリード(吹き口)に付ける振動板を試したりしているそう。さらに、自身の心も磨かないと、いい音が出ないという藤原さん。「音の為にできる全ての事を、これからはも追及しチャレンジしていきたいです」



中学時代から使っている、愛用のリードケース

普段は、ピアノとサクソの両方を使って教えているそうです

昼コン&夜コン | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム | 入場無料

- 6/9(土) 14:00~昼コン「冷麺お昼のコンサート」
[出演]平光真彌、新谷 歌(ヴァイオリン)、菅原拓馬(ピアノ)
- 6/22(金) 19:00~夜コン「金柑・食飲鉄人」
[出演]松山英司、大橋 喬(トランペット)、國木俊之(ホルン)、永井淳一郎(トロンボーン)、市川 紘(チューバ)
- 7/7(土) 14:00~昼コン「名曲で彩るセタコンサート♪」
[出演]牧村沙保(ピアノ)、宮本未央(ピアノ)
- 7/20(金) 19:00~夜コン「サクソ de ナイト with パーカッション」
[出演]NWSサクソフォンカルテット(藤原愛子、柴田沙耶香、佐野功枝、真室香代)、平林明美(パーカッション)

一人ひとりの記録

めぐりめぐる、記憶の断片

本に呼ばれた? そんな気がして手を伸ばした事、本好きならきつとあるはず。私が『ぼくが生まれた音』に出会ったのも、図書館の絵本コーナーでの出来事でした。

この絵本は、世界的に活躍するトランペット奏者の近藤等則さんの幼少期のお話です。一番古い記憶は、胎内で聞いた「サウアー・ゴウオー…」という音で、故郷の瀬戸内海のうずしおと同じ響きだったこと。夜空には「キラキラキュキュン…」と星たちが瞬いて、夜泣きす

るのも忘れてしまったこと。音楽家である近藤さんの想い出は、さまざまな音とともにありました。これに絵をつけたのが、洋画家である同郷の智内兄助さん。鮮やかな故郷の景色の中にたえず近藤少年をとり囲むのは、仏教画を想わせるおどろきな妖怪たち。おもちゃ箱をひっくり返したような場面が、次々と飛び込んできます。

絵本に綴られた記憶と空想が本からあふれ出て、本棚から私を呼んでいたのかもしれない。

春日井市図書館でみつけた、思い出を綴った絵本。
左:「かあさんをまつふゆ」(光村教育図書)、
右:「またね。」(文芸社)



「ぼくが生まれた音」(福音館書店)

日本自分史センターでは、
絵本と掌編の自分史を募集します

〈絵本テーマ〉ゆびきりげんまん
〈掌編テーマ〉約束 ~あのとときの誓い・告白・志~
[応募]7/1(日)~9/30(日) (必着)
[作品選考]複数の審査員で選考し、優秀作品は書籍として刊行
[結果発表]2012年11月頃(書籍は2013年2月頃刊)
[応募規定]詳細は6月下旬にチラシ・HPで発表します

「モクモク ヒヤーン」
音楽家ならではの
擬態語が楽しい♪

自分史担当/越賀登紀子



みんなが作った
"ぼうけん舟"は、
図書館に展示!

Shift Cube担当/丸山和代

ちかくの芸術

いざ、手ざわり探しの冒険へ

「島のような場所があります」と、河面理栄さんに Shift Cube を紹介したのは、半年以上前のこと。すぐに来てくださった彼女は、文化フォーラム春日井全体から、島影や舟の見える海原を連想し、展示の構想を練ってくれました。これまで、風景で呼びおこされたテーマを作品にしてきた河面さん。夏休みのワークシヨップでは、小学生の子どもたちと一緒に、手ざわりを探し、様々な出会いを重ねます。

すり絵は凸凹の表面に紙を当て、上

から鉛筆などの画材でこすり、模様を浮き立たせる技法です。参加者は、木の葉やアスファルト、木目など様々な手ざわりを発見し、写し取っていきます。そこでは思いがけない模様や、不思議な色あいの刺激的な出会いが次々にやってくるかもしれません。

集めたすり絵でつくる「ぼうけん舟」は、一人ひとりが出会った瞬間のコレクションです。一隻の船から、ざらざら・つるつるの手ざわり、匂いや音の記憶がよみがえります。



①家の中にあるたくさんの凸凹を探して写し取る河面さん
②手ざわりを画材で写し取ると、不思議な模様が見えてきます!
③ワークショップで作る「ぼうけん舟」

あいちアートプログラム「すり絵でぼうけん舟をつくろう!」
| 交通児童遊園(春日井市)

8/17(金) ① 9:30~11:30 ② 14:00~16:00
[対象]①小学1~3年生 ②小学4~6年生 各15名
[参加費]¥500 [応募]7/1(日)~31(火) (必着)
[条件]愛知県内に在住または在学の小学生。
[応募方法]希望時間・〒・住所・氏名(保護者の氏名も記入)・年齢・学年・性別・電話番号を記入し、往復ハガキにて申込み
[講師]河面理栄(現代美術家)
この夏休み開催の豊満みプロジェクトでも、すり絵のワークショップを行います。詳しくはHPで

SHIFT CUBE VOL.18 河面理栄展「航海」
| 文化フォーラム春日井・交流アトリウム 入場無料

7/3(火)~8/31(金) 9:00~20:00

いい映画、お先に拝見

人の手が、握りしめるもの

二〇〇三年、フセイン政権の崩壊から三週間後のイラクが、この映画の舞台です。戦地に向かったまま何年探しても戻らない父親を探すため、少年アーメッドは祖母と一緒に旅に出ます。しかし、父親がいると信じて辿り着いたナシリヤ刑務所でも、父は見つかりません。疲れ果て、残酷な現実と向き合いながらも、少年と祖母は人々の優しさに支えられ、旅を続けます。

アーメッドは、父親の残した縦笛をいつも握りしめていました。物心ついた頃から父を知らない彼にとって、縦笛は父親の存在そのもののなのです。一方、おばあちゃんにも絶えず握りしめているものがあります。それはアーメッドの腕です。自分にとってかけがえのないものを、人は握りしめ守るのでしょう。

困難を受け入れ、必死に生きる人々の姿に思わず涙がこぼれます。されど、家族を思う少年のまっすぐな気持ちと眼差しが、スクリーンを越えて私の心に希望の光を灯してくれたのです。



第32回かすがい日曜シネマ「バビロンの陽光」

| 文化フォーラム春日井・視聴覚ホール
7/22(日) ① 10:15~ ② 13:45~ (開場は15分前)
[料金] ¥900、ペア ¥1,700 (ともに当日 ¥200増)
PiPi会員 ¥800、ペア ¥1,500 (ともに当日同額)
全自由席、上映時間指定、3歳以上有料
[取扱い]文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、電話予約
監督:モハメド・アルダラジー イラク・イギリス・フランス・オランダ・パレスチナ・UAE・エジプト合作 2010年/90分/カラー・日本語字幕

知られざる
イラクの姿が
描かれています

映画担当/相馬加奈子

50号だっ! 全員集合 スタッフみずから、頑張りました!



①“芸術家の愛した料理”を作ってみた! (05年/9号)

料理からアーティスト達に迫ろうと、多くのアーティストたちが好んで食べたという料理を、実際に作ってみました。左上から、武満徹、ロートレック、下段左から、森鷗外、ロートレック、プランクが好んで食べたものだそうです。ちなみに、これらを作ったのは男性スタッフ。頭が下がります…。

②書き初めに挑戦! (05年/11号)



“書の町”春日井にちなんだ特集もいくつか掲載しましたが、これは緊張した…。書き初めなんて小学生以来というスタッフが、藤田金治先生に書を習うというもの。しかも財団キャラクター「Pipi」という字を入れたいとお願いはしたものの、たゆまぬ努力とセンスが不可欠な書。そう易々と書けるはずもなく。結果はこの通り。日々の精進が必要ですね。

③“異星人”ヘトリップ (09年/35号)



当時の新人スタッフが身体をはって取り組んだダンス公演にも密着。美音異星人さんのサポートとして活躍したスタッフ3人。ダンス練習の時間も、仕事の時間も惜しい…と、このままの全身タイツ姿で働いている姿には、ちょっとびっくりしましたが!

④ここぞとばかりに、ホイホイホイ! (11年/45号)

REPORT スタッフみずから、頑張りました! 体験レポート!

秦万里子コーラス隊、史上初の100人参加。
“さぼってないサボテンズ”で、私も必死に覚悟!

5/14 (土) 練習-1日目
5/18 (水) 練習-2日目
5/27 (金) 練習-3日目

5/28 (土) 本音当日!

さぼっているわけではありません。秦万里子さんが各地で編成するコーラス隊にスタッフ自ら参加。至上初の100人コーラス隊“さぼってないサボテンズ”で、多くのお母様たちに囲まれながら、体験レポートを書いてくれたスタッフ。実は最年少での参加でした。秦さんの発する言葉や、お母さんたちへのインタビューなど、隅から隅まで満喫した、素敵なレポートに仕上がりました。

落語家たちが高座で魅せる、多彩な表情

春日井で開催する落語会は、必ずチケットが売完。ご覧になれなかった方のために少しでも、高座での落語家たちの様子をレポートしてきました。他にも、柳家花緑さん、立川志の輔さん、春風亭昇太さんなど、多くの落語家たちが、春日井の地を訪れています。



桂吉弥 (07年/23号) 桂紅雀 (07年/23号) 笑福亭仁鶴 (09年/30号) 柳家喜多八 (09年/33号)



柳家三三 (10年/35号) 古今亭菊之丞 (11年/43号) 三遊亭圓楽 (11年/46号) 林家たい平 (11年/46号)

FORUM PRESS
フォーラムプレス

ありがとう! 50号記念特集

構成&テキスト=スタッフ 林 祥恵、山川 愛



二〇〇四年から発行してきた『フォーラムプレス』が五十号目を迎えました。

五十という数字にまつわる慣用語がいくつかあります。たとえば「ファイファイ・ファイファイ」。これは文字通り五分五分という意味で、もちつもたれつとか共存共栄、助け合うという意味の言葉です。次に「五十歩百歩」。こちらは、程度の差はあっても、本質は同じであることを意味します。そんな五十にまつわる言葉を探していくうちに「明日の百より今日の五十」という言葉に巡り会いました。明日手に入るかもしれない不確定なもの、僅かでも確実に今日手に入るものの方がよいという意味の、この言葉で、これからの『フォーラムプレス』が見えたような気がしました。

一かすが市民文化財団が主催するさまざまなイベント情報の発信は元より、地域の人々、そして訪れてくださる多くの人々と協力しあい、本質をとらえた情報を、読者ひとりひとりに、確実にお届けすることです。

多くの方に支えられてきた『フォーラムプレス』には、文化にまつわる情報がたくさんストックされています。その一部をダイジェストでお届けします。アーティスト、お客さま、多くのイベントのあんな顔、こんな顔を、ちょっと覗いてみてください。

50号だっ! 全員集合 インタビューで登場したアーティストは計87名!

国府さんから始まったインタビューは、音楽家、俳優、落語家、美術家、など、バラエティ豊かな87名。どの取材にも快く応じてくれたアーティスト達から学んだのは、聡明さとたくましさ。語ってくださった数々の言葉は、未だ輝きを放っています。

初インタビューは、ジャズピアニスト 国府弘子さん (04年/3号)



50号だっ! 全員集合 記者会見のレポート記事も



写真は「さんざの夢」(09年/33号)の記者会見。主役の紺野美沙子さんを始め、出演者たちが一同に集まる、貴重な時間でした。他にも、松本幸四郎さんや、劇団四季など、いろんな場所へ向かいました。

50号だっ! 全員集合 手書きメッセージ、嬉しいものです

アン・サリーさん (08年/26号)をはじめ、矢野顕子さんや栗コーダーカルテットの面々から。編集部にも届くたびに、ワクワクしています。

こんにちは。アンサリーです。
この度は久しぶりに愛知県でのライブを行うことになり、今から大変楽しみにしています。
劇的な深い、生まれ育った街に帰り、地元の方々へ音楽のメッセージを届けられるのは、感謝の深いものがあります。
それでは、みなさまの笑顔に会いできることを楽しみにしています。





50号の全員集会
編集部オリジナル!
山下洋輔 × 茂木大輔
交流・交友・共演遍歴

春日井ではお馴染みの二人。取材をすればするほど、二人の接点が気になりはじめて編集部は、とうとうオリジナルの年表まで作ってしまったのです。(10年/38号)

山下洋輔 × 茂木大輔 交友・交流・共演遍歴

二人の膨大な経歴から、交流・交友・共演した、ほんの一部をピックアップ。これだけでも相当面白いことになってますから、実際は!!

1940~	1942 山下 東京で生まれる	1999 山下×茂木 山下の曲をクラック作品として取り上げた「山下洋輔 越境」(茂木大輔 リリース)
	1959 茂木 東京で生まれる	2000 山下 自作のアニメーション「国際演奏家のためのENCOUNTER」を世界初演(指揮:金聖琴、東京フィル・東京オーケストラ)
	1962 山下 国立音楽大学作曲科に入学	2001 山下×茂木 元旦のカウントダウンコンサートで茂木指揮者として公式デビュー(日本フィル・東京芸術劇場、山下と「ラフディ・イン・ブルー」を演奏)
	1966 山下 簡井隆雄に出会う	2002 山下×茂木 山下とN響「ラフディ・イン・ブルー」を共演
	1967 山下 国立音楽大学、急性性脱腸で倒れる	2003 山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートに、茂木大輔と「ブルー」を共演
	1969 山下 「山下洋輔・シロ」結成 「ブルー」研究を自費出版	2004 山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートで、簡井隆雄作「山下音楽の「フリン」を演奏
	1974 山下 初のソロ・ライブ「コンサート・ツアー」 「クワイ」山下洋輔・シロ リリース	2005 山下×茂木 茂木指揮のスペシャル・オケストラで「ラフディ・イン・ブルー」を再演
1970	1975 山下 「全日本吹奏楽選手権大会」結成、山下、会長に就任	2006 茂木 「茂木大輔の「のためかンタービレ」の音楽会」初開催
	1977 山下 「第1回吹奏楽祭」開催、簡井隆雄が会長に	2007 山下 セル・テラート・デュオ・コンサート開催
	1978 山下 国立音楽大学音楽学部音楽科オーボエ専攻に入学	2008 山下 山下洋輔スペシャル・ビッグバンドのコンサートを開催
	1979 山下 「クワイ」に衝撃を受け、山下退き始める	2009 山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートで、茂木大輔と「ブルー」を共演
1980	1980 茂木 簡井隆雄と共同で、山下に新産用の楽譜作品を依頼	2010 山下 2年ぶり、山下洋輔スペシャル・ビッグバンドのコンサートを開催
	1981 茂木 国立音楽大学、ミン・ミン国立音楽大学マスターコースに入学	
	1983 山下 10項目のヨーロッパ・ツアー、(山下洋輔・シロ)解散	
	1984 茂木 この頃、山下洋輔・シロ・オーボエの楽譜作品を依頼	
	1985 山下×茂木 「無伴奏オーボエのためのレディ・カヒコへの手紙」を山下が茂木に献呈	
	1986 茂木 ユニオン国立音楽大学卒業	
	1987 山下 「ラフディ・イン・ブルー」(山下洋輔 リリース)	
	1988 山下 大阪府立「ラフディ・イン・ブルー」	
	1989 茂木 シュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団に入団	
1990	1990 茂木 ドイツが帰国	
	1991 茂木 NHK交響楽団に入団	
	山下×茂木 「室内楽のタブ」コンサートを開催、茂木らN響の木管楽器と山下が共演	
	1996 茂木 解説コンサートで録音活動を開始	
	1998 山下 佐渡裕博のコンサート・ラムルー管弦楽団と「ラフディ・イン・ブルー」を共演	
	1999 茂木 解説コンサートで録音活動を開始	

1999	山下×茂木 山下の曲をクラック作品として取り上げた「山下洋輔 越境」(茂木大輔 リリース)
2000	山下 自作のアニメーション「国際演奏家のためのENCOUNTER」を世界初演(指揮:金聖琴、東京フィル・東京オーケストラ)
2001	山下×茂木 元旦のカウントダウンコンサートで茂木指揮者として公式デビュー(日本フィル・東京芸術劇場、山下と「ラフディ・イン・ブルー」を演奏)
2002	山下×茂木 山下とN響「ラフディ・イン・ブルー」を共演
2003	山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートに、茂木大輔と「ブルー」を共演
2004	山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートで、簡井隆雄作「山下音楽の「フリン」を演奏
2005	山下×茂木 茂木指揮のスペシャル・オケストラで「ラフディ・イン・ブルー」を再演
2006	茂木 「茂木大輔の「のためかンタービレ」の音楽会」初開催
2007	山下 セル・テラート・デュオ・コンサート開催
2008	山下 山下洋輔スペシャル・ビッグバンドのコンサートを開催
2009	山下×茂木 東京オペラシティのニューイヤーコンサートで、茂木大輔と「ブルー」を共演
2010	山下 2年ぶり、山下洋輔スペシャル・ビッグバンドのコンサートを開催



50号の全員集会
市民会館 開館40周年

市民会館竣工当時の古い資料も掲載。ココに歴史アリ! です。(06年/14号)



50号の全員集会
なんと、動物園で撮影!

飯田市在住のシンガー・ソングライターのタテタカコさん。「是枝監督(映画監督)とも、行ったんです!」と、街のど真ん中にある動物園へ。サルやシカに囲まれながらの撮影は、和やかなひとときでした。(08年/25号)



セラフィヌ・ルイの《枝》が、10種類の野菜を使ったオードヴルへ。
気になる野菜がいっぱい!!



表紙写真を毎号がけてくださる写真家/アーティストの山田亘さんと合同で、展覧会を開催。控造ですが、戦前であったというFORUM PRESSも登場。(11年/43号)

50号の全員集会
こんな美味しい特集も組みました!

素朴派展に出品された絵画が、美味しい料理に。一足お先に、試食させていただきました!(12年/48号)。

ココに注目!

枝に見立てたアスパラガスに実った、色とりどりの野菜たち。セラフィヌの色鮮やかな世界が再現されています。私の一押しは、フルーツみたいな甘味のほおずき(写真手前)。目でも楽しめるビタミン豊富な一品からコースはスタート!

2種類のファルシ(詰め物)はこんな味!

真っ赤なトマトの中にはサーモン、シューには豚肉のファルシがクリーミーで濃厚な味わいが広がります。



50号の全員集会
思い出の場所に連れて行っていただきました

暑い鎌倉 → 風すさぶ京都駅 → 母校の桐朋学園大学レッスン室

ヴァイオリニストの磯絵里子さんは、演奏会をされたことがある北鎌倉・東慶寺で。ハーピストの内田奈織さんは、旅立ちの場所・京都駅で。ピアニストの高橋多佳子さんは、母校・桐朋学園大学音楽部にお邪魔して、取材と撮影をおこないました。思い出の場所へ行くと、みなさんの表情がほぐれていきました。(10年/40号、41号、11年/42号)



50号の全員集会
フォーラムプレスをモチーフにした展覧会も開催しました。



表紙写真を毎号がけてくださる写真家/アーティストの山田亘さんと合同で、展覧会を開催。控造ですが、戦前であったというFORUM PRESSも登場。(11年/43号)

50号の全員集会
漫画好きスタッフ 小松淳子セレクション

全ての知識は漫画で学んだ...というスタッフ小松が「パレエ漫画」「和装男子」という切り口で、オススメ漫画をレコメンド。次回は何でしょう?(11年/46号)

和装男子に萌えてみる!?
 伝統芸能が楽しくわかる和装男子漫画 厳選8冊!!
 楽しくてためになる、伝統芸能が身近となった漫画たち。中でも日本人の関心を引く和装を中心に、漫画と編んでご紹介します。

「王子」が舞う、究極に美しい!「舞妓」
「オレンヂ・チャローム」
命をかけて闘う男たちの「連獅子」
「かみくさ」
少女漫画の典型と数珠は♥
「和装男子」
「花より男子」
「舞妓」
「和装男子」
「花より男子」

50号の全員集会
急ぎよ決まった舞台挨拶も ぱっちりレポート

映画「Beauty うつくしいもの」の舞台挨拶に駆けつけてくださった、歌舞伎俳優の片岡孝太郎さん。ちょうど「さよなら歌舞伎座公演」出演中のことでした。貴重な機会も、ぱっちりレポートに。(09年/33号)



50号の全員集会
二ノ宮知子先生の 貴重なレポートも掲載!

06年に初めて開催した“のだめ音楽会”。実は「のだめカンタービレ」作者の二ノ宮先生も公演にお越しくださりました。二ノ宮先生のブログから引用した文章を掲載させて頂きましたが、実は現在、web閲覧することはできません。貴重なページとなりました!



50号の全員集会
春日井名物のサボテンも あち・こちに登場しました

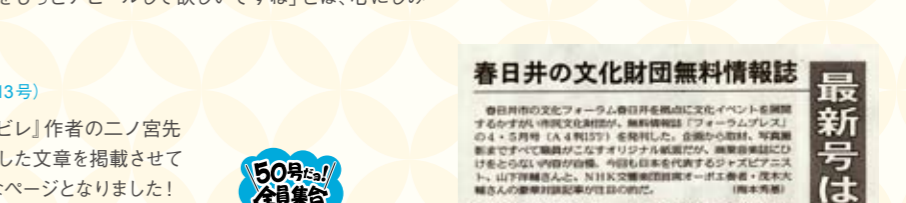
11年/45号で登場した水野美紀さんには、スタッフみずから植え込んだサボテンを、プレゼント。とても喜んでいただき、ほっと一安心。



CM作りワークショップに登場した、サボテンアイスクリームとキーホルダー。左から、春日、日丸、井之助です!(09年/33号)

50号の全員集会
団地を愛するアーティストからの メッセージ

06年に開催した「大団地展」で、われら高蔵寺ニュータウンの写真展示してくださった、大山顕さんからのメッセージも掲載。(以下、抜粋)「高蔵寺ニュータウンは大規模団地として欠かすことのできない場所。春日井は良い財産を持っていると思いますし、その財産をもっとアピールして欲しいですね」とは、心しみる言葉です。



50号の全員集会
中日新聞 近郊版にも 掲載されました

12年/49号の、山下洋輔さん×茂木大輔さんの記事が、中日新聞に写真入りで掲載。記事には、「企画から取材、写真撮影まですべて職員がこなすオリジナル紙面だが、商業音楽誌にひけをとらない内容が自慢」と書いてくださり、至極恐縮。いつも試行錯誤の連続です。



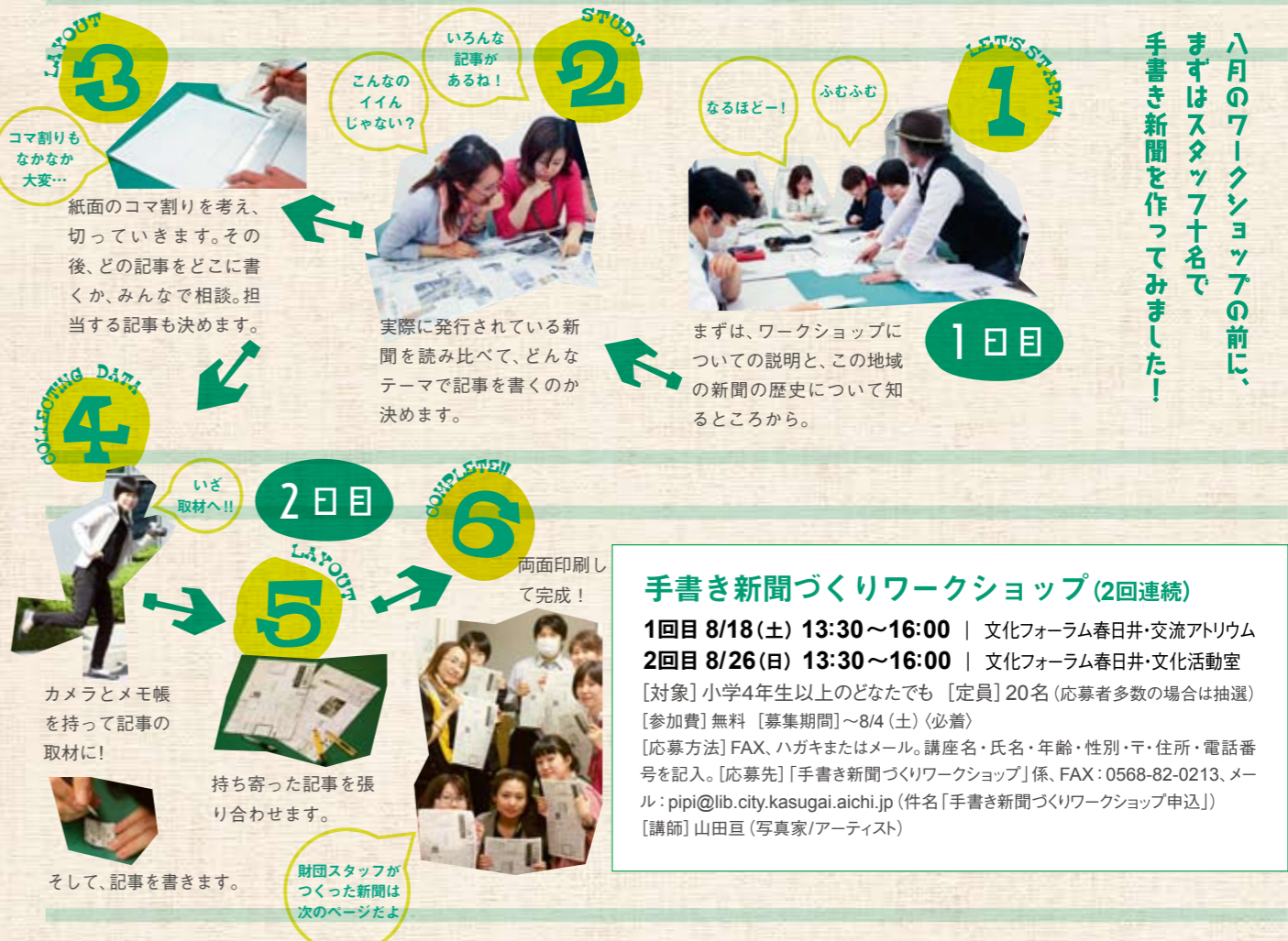
|| 春日井市内の隠れた魅力、一緒に探しませんか? ||

手書き新聞づくり

8月に開催するよ

ワークショップ

- 1 参加者は、それぞれの視点で取材し、記事を書きます
- 2 取材現場に直接足を運び、自分の目で見、耳で聞いた内容をもとに記事にします
- 3 取材場所は、高蔵寺エリア・春日井駅エリア・勝川エリア
- 4 新聞は、文化フォーラム春日井など、市内を中心に配布します



手書き新聞づくりワークショップ(2回連続)

1回目 8/18(土) 13:30~16:00 | 文化フォーラム春日井・交流アトリウム
2回目 8/26(日) 13:30~16:00 | 文化フォーラム春日井・文化活動室

[対象] 小学4年生以上のどなたでも [定員] 20名(応募者多数の場合は抽選)
 [参加費] 無料 [募集期間] ~8/4(土)(必着)
 [応募方法] FAX、ハガキまたはメール。講座名・氏名・年齢・性別・〒・住所・電話番号を記入。[応募先] 「手書き新聞づくりワークショップ」係、FAX: 0568-82-0213、メール: pipi@lib.city.kasugai.aichi.jp (件名「手書き新聞づくりワークショップ申込」)
 [講師] 山田亘(写真家/アーティスト)

市民ライター大募集

今年8月、文化フォーラム春日井で、市民ライターの募集を行います。市民ライターとは、市民の目と耳で、春日井の魅力を伝える役割を担います。取材は、春日井市内の様々な場所で行われます。興味のある方は、ぜひご応募ください。

募集要項:
 ① 年齢: 18歳以上
 ② 性別: 問いません
 ③ 居住地: 春日井市内を希望
 ④ 活動期間: 8月1日~8月31日(予定)

お問い合わせ先:
 文化フォーラム春日井 市民文化課
 〒486-0244 春日井市春日井5-44
 電話: 0568-82-4268

和室再注目

春日井市高蔵寺の文化財「和室」が、最近注目を集めています。和室は、日本の伝統文化の象徴であり、現代でもその魅力を再発見されています。和室の魅力を伝えるために、市民ライターを募集しています。

和室の魅力:
 ・自然素材の美しさ
 ・季節感の演出
 ・静寂な空間

シム王国のモンク

シム王国のモンク「シム」が、市民文化活動に参加します。シムは、日本の文化を愛する外国人です。シムの活動を通じて、市民と外国人との交流を促進します。

シムの活動:
 ・日本語学習
 ・日本の文化紹介
 ・交流イベント

怪奇!

春日井市内で怪異が頻りに発生しています。市民ライターを募集し、怪異の真相を調査します。

怪異の種類:
 ・幽霊 sighting
 ・奇妙な現象
 ・不明な死

文化フォーラム春日井 Vol.1

春日井市内で文化活動が盛んに行われています。市民ライターを募集し、文化活動の様子を取材します。

文化活動の種類:
 ・音楽演奏
 ・美術展覧
 ・ワークショップ

公開審査会

市民ライターの活動成果を発表する機会があります。市民の目と耳で、春日井の魅力を伝える活動の成果を発表します。

審査会の内容:
 ・市民ライターの発表
 ・市民からの質問と回答
 ・表彰式

春日井市民美術展覧会

春日井市内で市民の芸術活動が盛んに行われています。市民ライターを募集し、美術展覧会の様子进行します。

美術展覧会の種類:
 ・絵画展覧
 ・書道展覧
 ・工芸展覧

COMING SOON!



時代を超えて今も輝く、名曲ポップスが春日井に! 1970年代後期に颯爽とデビューした、三組のトップランナーたちの歌声をお楽しみください。



華麗にゆかたを着こなして、美しい佇まいを身につけましょう ゆかたを着こなす基礎知識講座、着付け体験、そして和室でのお抹茶をお楽しみください。



天才演劇人・江守徹の朗読を、特別低価格でお届けします! 重要無形文化財の能楽師二人とともに、「羅生門」をはじめ「蜜柑」や「手巾」など、芥川龍之介作品を読み語ります。

Q1 どこで情報誌FORUM PRESSを入手されましたか? Q2 今回のFORUM PRESSで、面白いと思ったページに☑を付けてください

Q3 今後取り上げてほしい内容を教えてください (あなたが思う「春日井の隠れた魅力」も教えてください)

Q4 今後FORUM PRESSでは、当財団主催イベントについてコラムを書いていただくレポーターを募集する予定です。レポーターとして参加したいですか?

FORUM PRESS vol.50 読者アンケート

いつもFORUM PRESSをご愛読いただき、ありがとうございます。今後、より読み応えのある誌面づくりをしていくため、参考にさせていただきます。アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

- 回答者プレゼント 抽選で次の1~5のチケットをプレゼント!! 1 ミュージカル「王様と私」 2 名様 8/9(木) 18:00~ ペアチケット

アンケートの応募締切りは、平成24年7月20日(金)〈当日消印有効〉 たくさんのご応募、お待ちしております。

本紙記者は升た!! のための音楽会 観客動員10万人突破の瞬間!! 四月三十日、兵庫県立芸術文化センターKOBELICOホールにて、のめりカンパニーの音楽会が...

春日井市内で夕又寺出現 春日井市小水田町内の専道で、四月十日の深夜一時半頃、ツズキの出没が確認された。現跡を目撃したのは、市内在住の団体職員Fさん。Fさんによりますと、深夜に一人で専道に歩いていたところ、目の前に夕又寺の姿が現れた。...

道風塾 春日井市市会館の山林で、春の山歩きを楽しむ。道風塾は、春日井市市会館の山林で、春の山歩きを楽しむ。道風塾は、春日井市市会館の山林で、春の山歩きを楽しむ。

自分史の真相 春日井市市会館の山林で、春の山歩きを楽しむ。自分史の真相は、春日井市市会館の山林で、春の山歩きを楽しむ。

桂お吉独演会 桂お吉(桂三枝)の独演会。桂お吉(桂三枝)の独演会。桂お吉(桂三枝)の独演会。

クロスワード 1 舞台座あの大黒馬 2 林においで果物 3 とはいはなすお茶 4 0000 味のわかんない 5 新体操 6 0000 7 17月14日は皆で祝日00000 8 0000 忘れずに 73とのおめでたさ? 8名強00といはなすお茶 9長公演おめでたさ

文化フォーラム春日井までの日帰りハイキング!! 歩こう! 道風くんの町! ☆当日はご自宅から文化フォーラムまでのんびりお歩き下さい。 1,980円~2,980円



夜コン「リーリーリード」

4/13 (金) 19:00~20:00 文化フォーラム春日井・交流アトリウム

●とてもゼイタクな時を過ごさせていただきました。ありがとうございました。次回は友人・知人と共に参ります。(50代・女性・春日井市) ●よかったです。私もクラリネットとピアノをやっていますが、こんなふう演奏できるようになりたいと思いました。(10代・女性・春日井市)



今年から開催！
春日井市内出張コンサート
『かすがい音楽便』

4/13 (金) 14:00~15:00
介護老人保健施設 エスベラル東春

あなたの近くにも
来るかも！



第75回
かすがい芸術劇場
桂よね吉 独演会

4/22 (日) 14:00~16:00
文化フォーラム春日井・
視聴覚ホール

●よね吉師匠の熱演に
じびれました。NHK
連続テレビ小説「ちり
とてちん」のイメージ
とは一変して、びっ
くりしました！(60代・男性・春日井市) ●春日井の特徴をさりげなく嘶に盛り込まれていて、大変楽しませていただきました。(40代・女性・春日井市) ●二乗さんはカワイイし、きちっとした芸で感心します。しん吉さんは軽い感じでよかったです。よね吉師匠は米朝流の凝った嘶でコクがあり、本当に楽しめました。(60代・男性・蟹江町)

最近、こんなの読んでます

①お雛子えりちゃん寄席ばなし
恩田えり

漫画・新子朋子
イラストレータ 二〇二二発行

落語好きが高じて会社を辞め、寄席の雛子方になってしまった「えりちゃん」。そんな彼女が、漫画も交えながら寄席雛子を紹介するのが本書です。
落語家それぞれのタイミングにあわせて出雛子を演奏する様子や、リクエストされた曲を探す日々の話、落語「七段目」で三味線の音楽を入り忘れてしまった裏話など、落語や

紙切りで音楽を演奏する裏方だからこそ知れる話題が盛りだくさん。柳家喬太郎師匠との対談も必読ですが、マイナス二十度のモンゴルで蛇味線を習う話は、不思議な妙味があります。
M-1グランプリ三回戦まで出場したことのある彼女、独特の視点と丁寧な語り口が、えりちゃん存在感を引き立てています。(三輪千穂)

②日本写真真集史
1956-1986

金子隆一 / アイヴァン・ヴァルタニアン
赤々舎 二〇一九年発行

日本における写真表現の潮流が大きな転換を迎えた六十七年代。写真家たちは写真集ならでは表現方法も追求していました。当時出版された写真集の多くは絶版となつていますが、本書ではそれらに巡りあつていけます。
掲載されている貴重な四十三冊のうち冊は、この秋、当館で写真展を開催する石元泰博の『ある日あるところ』。当時アメリカ人として捉えられていた石元は、東京とシカゴで撮影した写真をランダムに組み合わせ、この写真集に収めました。一枚枚

の写真ではなく、『ある日あるところ』に配列された写真の連続体から立ち上がってくるのは、石元が見つめていた日常への視線。写真集という塊が持つメッセージを、本書は教えてくれます。(林美智子)

③進化するミュージカル
小山内伸

論創社 二〇二二年発行

芝居好きの芝居癖は面白い。桂よね吉さんの「七段目」も、迫力と臨場感に唸らされました。音楽や装飾を鮮明にイメージさせ、役者なみの狂言回しで物語に引き込めます。
この本は、ミュージカルの魅力を音楽とドラマの結びつきを中心に紹介しています。例えば「キャッツ」では、静寂から躍動し、最後はステリアスに曲が変化することで、みずばらしい娯楽猫が栄誉ある猫に選ばれる運命を劇的に魅せます。それを巧みに解説されると、ミュージカルが観たくなること必至。芝居好きの技術が成せるワザですね。この本の著者も、「七段目」の若旦那並み、相当な芝居好きとお見受けします。何せ観劇に二十万円も投資されていますから…。(武田里美)

春日井市民会館からのお知らせ



利用受付開始日が変更になります！

春日井市民会館の利用受付開始を6か月前の初日から12か月前の初日に変更します。平成24年6月1日(金)から平成25年6月利用分の受付を始めます。

11月から改修工事のため、お休みします

平成24年11月から7ヶ月程度、耐震補強などの改修工事のため、春日井市民会館はご利用いただけません。工事期間や再開日等の詳細については、随時、春日井市ホームページ等でお知らせをいたします。ご迷惑おかけしますが、ご了承ください。

郵便はがき

4 8 6 8 7 9 0

3 6 6

料金受取人払郵便

春日井支店
承認

8025

差出有効期限
平成24年7月
20日まで

(受取人)
愛知県春日井市鳥居松町5-44
文化フォーラム春日井

公益財団法人かすがい市民文化財団
FORUM PRESS 編集部行



フリガナ		歳
お名前		
〒	□□□□-□□□□	都道府県
ご住所		市郡
※マンション・アパート名まで必ずご記入ください。		
お電話	会員番号	

※友の会 PiPi に入会されている方は会員番号もお書きください ※ご記入いただいた個人情報は、当財団主催事業のために使用し、それ以外に使用、または第三者に提供することはありません。

information from PiPi

市民と芸術をつなぐ
サポートステーション
“文化情報プラザ”へ

Wi-Fiが使えるようになりました

文化情報プラザでWi-Fiが使えるようになりました。簡単・手軽に無線で高速インターネットが楽しめます。スマートフォンやノートパソコンをお持ちの方は是非ご利用ください。

白井恵子 神田裕美

文化フォーラム春日井2階・文化情報プラザ / 営業時間9:00 ~ 20:00

アート本、
ぞくぞく入荷

佐々木久美子

上の「最近、こんなの読んでます」で紹介している本は、すべて文化情報プラザで読めるんです。蔵書数は現在約160冊。絶版の書籍や限定販売の展覧会図録など、貴重な本もチラホラ。図書館へお越しの際は、是非コチラにも寄ってくださいね。



表紙写真をじっくり鑑賞

山田友子

本誌の顔とも言える表紙写真。写真家/山田巨さんの写真は、みる人によってイメージが膨らむようにと、あえてテーマを明かしていません。ここでは惜しくも表紙に選ばれなかった作品も含め、月替わりで展示。あなたはどんなイメージが浮かびますか？



10周年記念ライブ後の
ヨースモくん
@ TOKUZO

ザットルテ
「ピストロオンゼ」
5/13リリース
¥2,625

編集後記

FORUM PRESSは50号の記念を迎えましたが、同じこの春、結成10周年を迎えたバンドがあります。春日井出身のヨースモくんが名を連ねる、京都のアコースティックバンド“ザットルテ”です。昨年6月に文

化フォーラム春日井でも演奏していただきましたね。そんな彼らが10周年を記念してアルバム「ピストロオンゼ」をリリースしました！
実はアルバム発売の数カ月前、ザットルテのマネージャーさんと一緒に、ザットルテのキャッチコピーを考えたヨースモくんが名を連ねる、京都のアコースティックバンド“ザットルテ”です。昨年6月に文

立ホールの中堅職員が集まり、コピーライターの有田憲史さんの指導のもと、一日がかりで考えたさまざまなキャッチコピー。その中の一等賞が、なんと新アルバムのキャッチコピーに採用されたのです。“ちよどいイ 時代おくれ”
金子根古さん、素敵なコピーをありがとうございました！
(スタッフ 山川 愛)

かすがい市民文化財団 主催事業 チケットインフォメーション

チケット予約方法

1. インターネット予約

当財団ホームページから
「オンラインチケット予約・購入サービス」をご利用ください。

文化はかすがい

検索

※チケット受取方法は代金引換のみとなります。
※全席指定公演についてはお好きな座席を選べます(一部公演を除く)。

2. 電話予約

PiPi会員の方 (受付時間 9:00 ~ 17:00)

PiPi会員専用 先行予約電話

☎ 0568-85-6078

※会員電話先行予約期間のみ、先行予約を受け付けます。
※先行予約日が会員期間内であれば先行予約が可能です。また、チケット購入日が会員期間内であれば、割引特典が受けられます。

一般の方 (受付時間 9:00 ~ 20:00)

☎ 0568-85-6868

※チケット発売初日のみ、10:00からの受け付けとなります。
※電話予約での座席の指定はできません。

チケット受取方法

1. 文化情報プラザで受取り (営業時間 9:00 ~ 20:00)

文化フォーラム春日井2Fの文化情報プラザで、チケットを料金とお引換えください。取置き期間は2週間程度です。

※PiPi会員先行予約チケットの受取りは一般発売日以降になります。
※取置き期限が過ぎても自動的にキャンセルにはなりません。

2. 郵送で受取り (代金引換サービス)

郵便局の代金引換サービスで、ご自宅にチケットをお届けいたします。
チケットと引換えに郵便局員に指定の代金をお支払いください。

※注文後、1週間程度でお届けします。日にち・時間の指定はできません。
※チケット代金の他に、手数料として¥500程度が必要です。

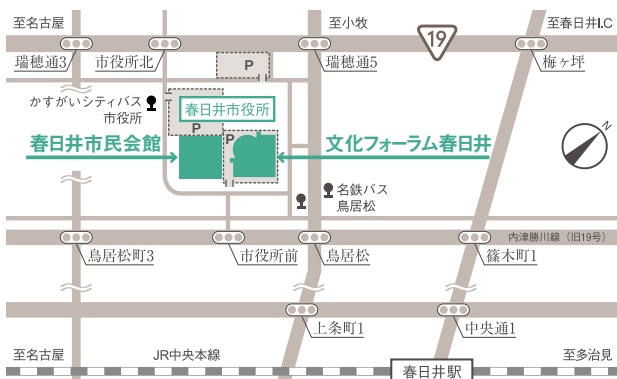
チケット発売初日の販売開始時間

- 文化フォーラム春日井 2F・文化情報プラザ/窓口販売 9:00 ~
- かすがい市民文化財団/電話・インターネット予約 10:00 ~
- チケットぴあ/スポット・電話予約・コンビニ(サークルK、サンクス、セブンイレブン)での直接購入 10:00 ~
- ローソンチケット/電話予約・ローソンの直接購入 10:00 ~
- 名鉄ホールチケットセンター/電話・インターネット予約 10:00 ~

※前売発売の場合、当日券はありません。
※予約チケットや購入済チケットのキャンセル・払戻しはできません。

文化フォーラム春日井 / 春日井市民会館
<http://www.lib.city.kasugai.aichi.jp/zaidan/>

486-0844 愛知県春日井市鳥居松町5-44
【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日



●JR中央本線「春日井駅」北口より
名鉄バス「鳥居松」下車、西へ徒歩2分 / 徒歩 北へ約20分 / レンタサイクル(無料)で約5分
●かすがいシティバスでお越しの方
「市役所」下車、南へ徒歩2分
※駐車場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関や乗合せをご利用ください。

なにげない日常が、かけがえのない自分史に。



それぞれの想いを伝える本作りのお手伝いをいたします。

ARM corporation
株式会社あるむ

〒460-0012
名古屋市中区千代田三丁目1-12 第三記念橋ビル3F
TEL.052-332-0861 FAX.052-332-0862
E-mail:arm@a.email.ne.jp http://www.arm-p.co.jp

舞台の運営をサポート、
搬入・搬出スタッフ派遣しております。
各種イベントの
企画・制作・運営も承ります。

- キャラクターショー
- 司会者、アクター、スタッフの派遣
- 各種フワフワ、トレイン、遊具のレンタル
- 着ぐるみ制作
- ウルトラマンシリーズグッズの企画・開発・販売



(株)円谷プロダクション イベント指定 代理店

有限会社 森次エンターテインメント

〒462-0825 愛知県名古屋市長大曾根3-5-2
TEL.(052)982-7888 FAX.(052)982-7887
E-mail: moritsugu@ultra-ai.com http://www.ultra-ai.com

今までよりも“今”が最高でありたい。

各種イベント・舞台の裏方をプロがサポート
照明・音響・企画制作・・・なんでもご相談ください。

企画制作 各種演出 照明 音響 ホール管理



株式会社ジェイエス

〒463-0070 名古屋市守山区新守山922番地
tel.052-795-9331 (10時~18時/平日のみ)
<http://www.js1979.co.jp>



春日井印刷株式会社
(篠木小学校前)
春日井市篠木町5丁目13番地
TEL(0568)811318
FAX(0568)811882
TEL(0568)811833(代)

あなたの自分史、
納得いくまで
作ります。

自分史の制作は、多くの実績がある春日井印刷へ。編集作業の打ち合わせや校正など、何でもご相談ください。あなたの声に、確実に応えます。

www.kasugaiinsatu.com/